

【道路建設課所管 事後評価審議資料】

○道路改築事業【主要地方道 多治見白川線 伊岐津志工区】

・平成30年度事後評価箇所表 . . . p 1～2

・説明資料（パワーポイント） . . . p 3～8

平成30年度 事後評価箇所表

番 号	2	事 業 名 (路線名等)	道路改築事業 主要地方道 多治見白川線 伊岐津志工区 (やおつトンネル)		
事業実施箇所	可児郡御嵩町大庭 ～加茂郡八百津町伊岐津志		全体事業費 (当初事業費)	6.2億円 (6.1億円)	
採択年度	平成7年度	完了年度	平成28年度		
事業目的	<p>主要地方道多治見白川線は、多治見市明和町（国道248号）を起点とし、御嵩町を經由して加茂郡白川町へ至る延長40.1kmの幹線道路である。</p> <p>本事業はこのうち可児郡御嵩町から加茂郡八百津町に至る2.47kmのバイパスを整備したものであり、災害時に有効に機能するネットワークの確保、東海環状自動車道 可児御嵩ICへのアクセス向上を目的として実施した。</p>				
事業概要	<p>事業延長：2.47km 車道幅員：3.00m×2車線</p> <p>主要構造物：やおつトンネル L=1.36km</p>				
概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 40%;"> </div> <div style="width: 55%;"> </div> </div>				

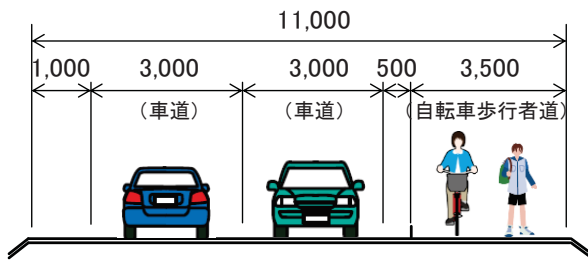
評価結果
①住民参加・協働による効果
○トンネルの名称を八百津町の公募により決定したほか、開通時には児童による演奏やパレードなどの式典を開催し、地域住民に対する事業への理解と愛着の醸成を図った。
②事業の効果
○災害時に有効に機能するネットワークを強化 <ul style="list-style-type: none"> ・整備前の道路は過去に災害や凍結等で通行止めになり、第2次緊急輸送路として脆弱であったが、バイパス整備によってネットワーク機能の信頼性が向上した。 ・可児消防事務組合からは、発生が危惧される南海トラフ巨大地震などの際に、八百津町への重要な経路となると評価されている。
○東海環状自動車道 可児御嵩 I C へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・八百津町役場と東海環状自動車道 可児御嵩 I C 間において、整備前のルートと比べると所要時間が約6分短縮され、アクセス性が向上した。 ・八百津町には、第二次世界大戦中に多数のユダヤ人難民の命を救った外交官杉原千畝氏に関する資料を展示する杉原千畝記念館があり、沿線自治体の P R の効果もあり、関東・東北ナンバーの観光客が増えたという声もある。
○費用対効果分析 <ul style="list-style-type: none"> ・ B / C は 1 . 6 であり、一定の効果が見込まれる。
③環境面への配慮
○トンネル掘削土運搬による騒音を抑制するために遮音壁を設置し、工事を実施した。
④事業を巡る社会経済情勢の変化
○事業中の平成12年度に第二次世界大戦中に多数のユダヤ人難民の命を救った外交官杉原千畝氏に関する資料を展示する杉原千畝記念館がオープンしている。
○事業中の平成17年度に東海環状自動車道 東回り区間（豊田東 J C T ~ 美濃関 J C T 区間）が開通し、本事業区間に近い可児御嵩 I C も同時期に供用している。
⑤利用者・地域住民等への効果
○整備に関して、回答者の9割以上が満足している。
○項目別には、特に「快適に運転できるようになった」や「時間が早くなった」の満足度が高く9割以上が満足している。
⑥対応方針（案）
○今後の事業評価の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・今の段階では必要無し。
○改善措置の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・今の段階では必要無し。
○新規事業へ適用すべき留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・施工中の周辺住民への配慮等、環境に配慮した事業の実施を推進していく。

事業概要

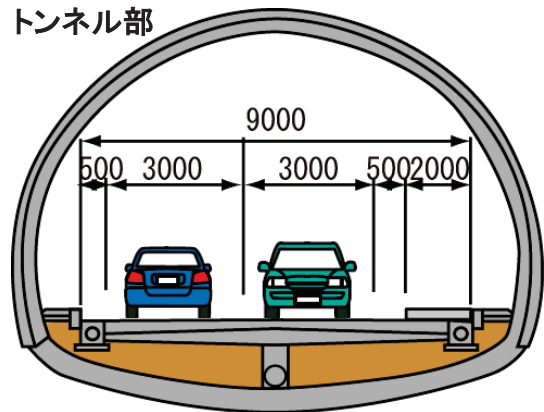
- 起終点 : かにぐんみたけちょうおおにわかもぐん やおつちょう いぎつし
: 可児郡御嵩町大庭～加茂郡八百津町伊岐津志
- 全体延長 : 2.47km(うちトンネル1.36km)
- 総事業費 : 62億円
- 事業着手 : 平成7年度
- 完成 : 平成28年度
- 幅員 : 車道 3.00m×2車線、片側歩道
- 道路規格 : 第3種第3級

標準横断面図

土工部



トンネル部



2

住民の参加・協働による効果

住民の参加・協働による効果

- トンネルの名称を住民から募ることによる愛着の醸成
- 地域住民の事業に対する理解・愛着を持って頂くため、開通式典において地域の小学校児童による演奏、パレードを開催

■ 地域住民に供用区間のトンネル名称募集

「主要地方道 多治見白川線のトンネル名を募集します。」

現在工事が進んでいます主要地方道 多治見白川線（仮称）伊岐津志バイパスのトンネル名を募集します。

- 申込方法 八百津町役場建設課又は各出張所にある申し込み用紙に記入し、提出（郵送可）してください。
- 募集締切 12月20日（火）
- お問い合わせ 八百津町役場 建設課管理係 TEL:0574-43-3111（内線）231

出典：八百津町広報（H22.11）

■ 開通式典の開催



出典：八百津町広報（H29.1）

広報を通じて、関心を持ってもらい、愛着を生む取り組みとして実施

地域住民に対し、事業への理解と協力を得るために実施

3

事業の効果①

災害時に有効に機能するネットワーク強化

- 整備前の道路は幅員が狭く、近年の災害で通行止が発生する等、緊急輸送道路としては脆弱。
- 本事業により、緊急輸送道路として防災拠点間を結ぶネットワーク機能の信頼性が向上。

旧道の通行止め実績	
平成22年7月15日	法面崩壊
平成23年1月31日	路面凍結
平成23年9月20日	路面冠水
平成30年9月5日	台風被害（倒木）

写真① 整備前の道路の状況



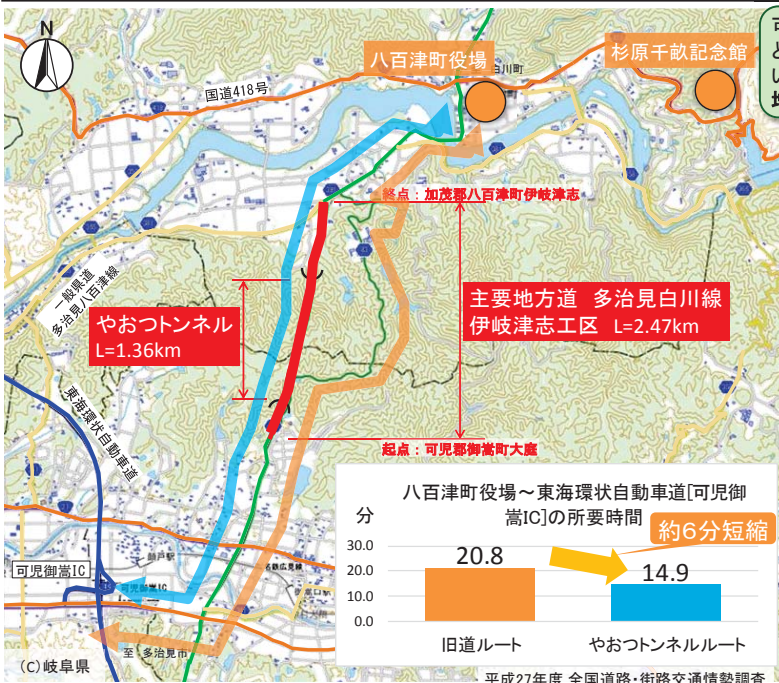
台風21号通過後の旧道（平成30年9月）



事業の効果②

東海環状自動車道 可児御嵩ICへのアクセス向上

- 八百津町役場と東海環状自動車道 可児御嵩IC間の所要時間が約6分短縮。
- 本工区は八百津町から福井県敦賀市を結ぶ「杉原千畝ルート」の一部となり、広域観光の活性化に寄与。



可児御嵩ICまで時間短縮したことで、周辺観光地との周遊性が向上しており、集客増につながっていると思います。関東・東北ナンバーのお客様も増えました。（八百津町の観光施設の方の声）

【杉原千畝ルート】



杉原千畝氏の出身地である岐阜県八百津町と、氏が発給したピザを握りしめた人々がたどりついた敦賀港（敦賀市）、近年多くの外国人観光客を迎えている金沢市、高山市、白川村を結ぶルートを「杉原千畝ルート」と命名し、氏の功績を世界に発信している。

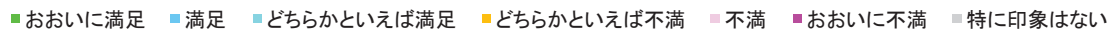
利用者・地域住民等への効果

アンケート調査結果

- 整備に関して、回答者の9割以上が満足している
- 項目別には特に「快適に運転できるようになった」と「時間が早くなった」の満足度が高い

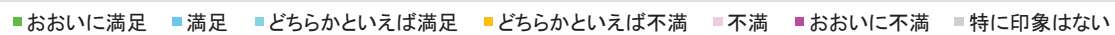
【整備に対する満足度】

「やおつトンネル」が開通したことについて満足していますか。



【項目別の満足度】

- 急カーブや狭い所が無く、快適に運転ができるようになった。
- 目的地に到着するまでの時間が早くなった。
- 救急車や消防車などの到達時間や搬送時間に関する不安が改善された。
- 地震など災害時における通行の確保の点で安心感が向上した。



8

費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 84%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 14%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 2%

投資的效果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.6 \text{ (全体)}$$

※費用便益分析マニュアル（国土交通省H30.2）に基づき算出

9

対応方針(案)

◆今後の事後評価の必要性の有無

- 「災害時に有効に機能するネットワーク強化」「東海環状自動車道 可児御嵩ICへのアクセス向上」などの事業効果を確認。
- 地域住民へのアンケートでも、9割以上の回答者が、整備に関して満足。
→今の段階では、今後の事後評価は必要なし。

◆改善措置の必要性

- 供用後、大きな事故は発生しておらず、現段階では改善措置の必要はない。
→今の段階では、改善措置の必要なし。

◆新規事業への適用すべき留意点

- 施工中の周辺住民への配慮等、環境に配慮した事業の実施を推進していく。